技術・家庭
（技術分野）

# １人１台タブレット端末を活用し、知識及び技能を身に付ける学習

第１学年　「材料と加工の技術」

## こんな子どもたちの姿を生むことができます！

■　自分のげんのうの使い方を客観的に見ることで、くぎをまっすぐに打てているかを視点に沿って何回も確認ができ、コツをつかんで意識して打つことで、技能を身に付けることができます。

## タブレットを効果的に活用する

**１人１人が、タブレットで自分の打つ姿を客観的に見たり、仲間の打つ姿をポイントを意識して見たりすることでお互いに助言できるようにする。**

・ポイントを意識してくぎを打ってみる。
・実際に教師の示範やポイントのようにくぎが打てているかタブレットで確認する。
・できていなかったところを明らかにして、さらに作業（練習）を進め、技能を身に付ける。

### 教師の指導のポイント

- 教師が示範を行って、打ち方のポイントを示し、生徒が理解した上で実際にやらせてみる。（生徒が困った時にすぐに確認できるように、電子黒板で手本を提示する。）
- ひじを視点にして、げんのうの打面がくぎの頭にまっすぐあたるように打ち下ろすということについて実感を伴って学べるよう、作業時間や練習時間を確保する。
- 自分や仲間のくぎ打ちの姿についてポイントを意識して撮影させ、対話的な学びの中で実際の姿を動画で見ながら交流できるようにする。

## 「本時のまとめ」で自己の変容を実感する

**ポイントを意識しながら前半と後半の作業を行い、動画で撮る。**
**終末場面に前半と後半を比較した動画等を見て振り返りをさせる。**

・自分の打つ姿を動画で見る。
・第１次作業と第２次作業（前半と後半）を比較し上手くできるようになった点を明らかにする。また、上手くいかなかったことも明らかにする。
・自己評価表をもとに振り返る際に、動画を見て評価シートに書き込む。

### 教師の指導のポイント

- 学ぶ喜びを実感し、学習したことが生活に結び付けられるように、前半と後半のくぎ打ちの様子を撮影させ、比較できるように指示をする。
- 振り返りシートに、本時の視点をもとに具体的な評価ができるようにする。